

平成28年度今治市民活動センター指定管理者モニタリング結果

| | |
|-----------------|--|
| 施設名 | 今治市民活動センター |
| 所在地 | 今治市別宮町8丁目1-55 |
| 指定管理者 | <p>名称 特定非営利活動法人 今治NPOサポートセンター</p> <p>代表者 理事長 井手 克彦</p> <p>住所 今治市別宮町8丁目1-55</p> |
| モニタリングの実施方針・方法等 | <p>本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。</p> <p>その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。</p> |
| 担当部課(問合せ先) | <p>市民環境部 市民生活課</p> <p>TEL : 0898-36-1530</p> <p>E-mail : seikatu@imabari-city.jp</p> |

評価内容

| 課題 | 指定管理者自己評価 | 市による評価 |
|--------|---|--|
| 総則 | A 設置目的、基本方針を指定管理者組織内（理事会開催）、利用者相互（利用者協議会開催）で共有し、市民活動団体の拠点として利活用促進に努めた。 | A 施設の設置目的、基本方針について、指定管理者として理解し、施設利用者にも理解を求めた上で、施設が地域の公益的な市民活動の拠点となり、市民活動の活性化に繋がるよう、積極的に取り組みが行われている。 |
| 使用状況 | B 会議室利用者数は微増した。貸事務所の利用頻度の向上、4団体の新規登録があり、活発に使用いただいた。より使用の促進、施設の認知度向上に努めたい。 | B 会議室利用者数は昨年度より少し増加し、アンケート調査の結果からも利用者の満足度は高いと言える。市民活動について、今後も引き続き広く周知することにより、これまで利用したことのない方達も含め利用促進に努めていただきたい。 |
| 事業収支 | A 施設・設備、備品共、老朽化に伴う改善しにくい不具合もあるが、利用者の声に耳を傾け、予算の範囲内でソフト・ハード両面のサービス維持に取り組んだ。 | A 老朽化する施設設備、設備機器については、利用者のニーズや施設の使用状況を考慮し、限られた予算の中で適切に対応されている。 |
| 管理運営体制 | B 二人体制で施設の管理運営業務、利用者への対応を適切に進めることができた。県内で開催される研修に参加し、支援のスキルや中間支援の現況把握に努めることができた。 | B 仕様書に基づいた人員配置で、利用者に対する適切な対応と職員間の情報共有により安定した管理運営が認められた。中間支援のNPO法人として職員の資質向上にも努めている。計画的な研修受講等限られた人数のなかで対応できるようにしていただきたい。 |
| 管理業務 | A 仕様書に定められた業務を適切に遂行できた。利用者にも主体的に施設管理に関わってもらうなど、参画型の運営により、よりよい運営環境づくりに努めることができた。 | A 植栽及び清掃管理業務において、仕様書の基準以上に実施し、適切に管理が行われている。施設利用者と共に清掃を実施することにより、施設関係者の美化意識の向上が図られている。 |
| 運営業務 | B 日常的な相談、ボランティアコーディネート業務を丁寧に行うことができた。担い手育成、支援者拡大につながる講座、現場体験などを充実させたい。 | B 講座の開催及び相談業務において、基礎部門から応用部門まで、市民活動の活性化に向けた精力的な取り組みが認められた。今後、コーディネート業務の充実や新たな市民活動の担い手開拓等により、更に市民活動の活性化に努めていただきたい。 |
| 使用業務 | B 利用者協議会の意見を反映し、コミュニケーションを密にした運営ができた。機関紙及びFMラジオなどを通しての団体同士の連携や情報発信に力点をおいた運営ができた。 | B 使用規定に基づき、施設は平等かつ公平に使用されている。また、機関紙、FMラジオ、ホームページ等により情報発信を行い、利用促進に努めている。 |

| 課題 | 指定管理者自己評価 | | 市による評価 | |
|------------|-----------|--|--|---|
| その他業務 | B | 訓練、研修を通して、スタッフ・使用者が危機管理意識を高める方策をとることができた。 | B | 避難訓練、ミーティング及び日常点検の実施により、危機管理意識について高い意識を持ち安全確保に努めている。また、利用に関しては、柔軟な対応がなされている。 |
| 修繕業務 | A | 点検巡視を行い、備品・施設の安全性の把握に努めることができた。限られた予算の中で効果的な対応に努めることができた。 | A | 限られた予算の中で必要な修繕を見極め、計画的に実施できている。 |
| 備品管理業務 | A | 使用者の声を反映した貸出備品を整えることができた。共用備品を丁寧に使用できるよう適切な管理に努めたい。 | A | 利用者のニーズに配慮した備品購入を行い、計画的な環境整備に努めている。今後も費用対効果を意識した備品購入と適切な使用及び管理に努めていただきたい。 |
| 自主事業 | B | コミュニティFMの協力のもと、ゲストを迎えながらの市民活動の魅力発信に努めた。最新情報を伝えたり、団体への参加を促したり、具体的な支援につながるよう尽力したい。 | B | 地元FMラジオにおいて、市民活動団体側と市民活動を支える側の双方の声を届け、市民活動の活性化に繋がる情報発信がなされている。今後も更なる施設や市民活動の情報発信をおこなってほしい。 |
| 地域団体との連携 | A | 県域でのスタッフ連携、スキルアップなどの機会を積極的に利用し、情報獲得などが進められた。出張相談の機会を活用し、周辺地域のコミュニティ組織との関係づくりが促進した。 | B | 他市の中間支援組織との意見交換、地域の市民活動団体との交流により、情報の収集・共有が行われている。今後、昨年度も課題に挙げられていた自治会等地域コミュニティ組織との連携に努めていただきたい。 |
| 使用者アンケート | A | 概ね良好な評価をいただいた。ソフト・ハード両面でいただいた具体的な意見を、業務遂行上の参考し、今後のよりよい運営に生かしていきたい。 | A | アンケート調査により寄せられた使用者の意見を反映した管理運営がなされている。 |
| 事故・苦情 | A | 日常的な巡回や点検により、苦情につながる案件への早期対応に努めた。ニーズ把握、ニーズへの迅速な対応が共にできた。 | A | 当該年度において事故の発生はなく、苦情も出なかった。利用者の要望に対して、迅速かつ柔軟な対応がなされている。安全確保、利便性向上を意識した組織体制が確立されている。 |
| 指定管理者の経営状態 | | | 事業報告、財務諸表等を確認した結果、指定管理者の経営状況については健全かつ安全に運営されていると認められる。 | |

総合コメント（市）

指定管理者は、今治市民活動センター条例、施行規則及び業務仕様書に基づき、施設の設置目的、基本方針に沿って、概ね適切に管理運営を行っている。

研修により職員の資質向上を図るとともに、機関誌発行、FMラジオ等による情報発信、現場体験ツアー及び市民活動相談会の開催等、市民活動の活性化に向けた取り組みは大変評価できる。また、職員間で情報共有がされており、安定した施設管理運営がなされている。

引き続き、利用者に対する柔軟かつ適切な対応と意見収集により、市民活動の拠点として施設の利用促進を図り、情報発信による市民活動の活性化に努めるとともに、今後、施設を活用した情報発信事業やボランティアコーディネート事業の充実、地域コミュニティ組織との交流に努めていただきたい。

指定管理者選定審議会による総合評価

評価点

選定審議会による評価